

2026 年 1 月 9 日

## アウディ ジャパンより新年のご挨拶 「アウディらしさを明確に打ち出し、共有する 1 年に」

- 2025 年は電気自動車（BEV）と内燃機関モデルの両軸で 4 モデルを導入躍進の序章
- 本年は新型 Audi Q3 と、新型 Audi A6 を市場導入して躍進を持続
- F1 参戦におけるブランド価値と技術向上を創出

アウディ ジャパン（東京都品川区、ブランド ディレクター：マティアス シェーパース）は、2026 年の年頭に際して、以下謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。2026 年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

2025 年のアウディ ジャパンは堅調な成長を遂げました。日本におけるベストセラーである Audi A3 のマイナーチェンジモデル導入がプラスに働き、前年比 101% 増の登録台数を記録しました。これにより、2025 年度の総登録台数は前年比 12% 増（23,905 台）を達成し、マーケットシェアは 0.5% 拡大しました。輸入車マーケット全体の成長率は前年比 7.0% 増<sup>\*1</sup>、およびプレミアムマーケットは前年比 1.3% 増<sup>\*2</sup>という状況下で、マーケット水準を上回る実績を記録しました。

また、プレミアム電気自動車（BEV）ブランドとしてのリーディングポジションの確立をめざした継続的な活動にも大きなマイルストーンがありました。アウディは、2020 年に日本市場初の電気自動車 Audi e-tron Sportback を導入して以来、10 モデル以上の e-tron モデルを導入しています。2025 年には Audi Q6 e-tron、Audi A6 e-tron の 2 モデルを、アウディを代表するモデルとして発表、導入しました。一充電走行距離は飛躍的にのび、走行性能は驚くほどの進化を遂げています。アウディにおける BEV のシェアは 9% となり、昨今の市場動向に反して、輸入車 BEV 市場をけん引しています。

同時に 2025 年は、新世代の内燃機関プラットフォーム PPC (Premium Platform Combustion) を採用した新型 Audi A5 シリーズ、ならびに新型 Audi Q5 シリーズという、アウディで人気の内燃機関モデルのフルモデルチェンジをラインナップに加えました。日本のお客様の生活スタイルやニーズにあったバランスのよいモデルを提供することで、アウディの進化を加速させることができました。

また、電気自動車用の充電インフラの拡充にも大きなマイルストーンを達成しました。Audi 以外の電気自動車モデルユーザーも利用できる急速充電施設として国内 2 拠点目となる「Audi charging hub 芝公園」（東京都港区）や、経路地充電を目的とした「Audi charging station 厚木」（神奈川県厚木市）をオープンしました。あらゆるブランドの電気自動車オーナーの皆様にも多数ご利用いただいています。さらに、アウディブランドアイコンで都市型ショールームの 2 店舗目「Audi City 日本橋」（東京都千代田区）のオープンするなど、正規ディーラーとの連携や充電インフラの整備を通じて、アウディブランドを体験できる機会を創出し、新しいモビリティライフの提案を継続しました。これらの活動は、パートナー企業各社の皆様の多大なるご協力のご理解なくしては成し得ませんでした。この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。

2025 年の勢いに乗り 2026 年のアウディ ジャパンも、引き続きお客様のニーズに対応するバランスのよいラインアップを拡充してまいります。アウディのベストセラーモデルのひとつであり、モダンなエクステリアと、多くの革新的な機能により進化を遂げた新型 Audi Q3。アウディの伝統を感じるビジネスセダンのデザインの中に、トップクラスの空力性能が盛り込まれたプレミアムフルサイズクラスの新 Audi A6。これら 2 つのモデルは、今年夏頃の日本市場導入を目指しています。明快なアイデンティティと最先端技術を盛り込んだ新型モデルを市場に導入し、お客様に体験いただくことで、「アウディらしさ」の体現を進めてまいります。

また、2026 年は「Audi Revolut F1 Team」が、フォーミュラ・ワン世界選手権（以下、F1）に本格参戦する記念すべき年です。F1 参入は、100 年以上にわたるアウディのモータースポーツの歴史を次のステップに進め、アウディブランドの技術的・文化的・事業的な進化に挑戦するグローバル戦略です。3 月

末に開催される日本グランプリで、ファンやパートナーの皆さんと新しい交流を始められることを楽しみにしています。さらに、持続可能な未来にむけたビジョン共有する「[Audi Sustainable Future Tour](#)」も実施する予定です。今後も、さまざまなパートナーとの仲間づくりの機会を創出してまいります。ご期待ください。

2026 年のアウディ ジャパンは、「アウディらしさを明確に打ち出し、共有する一年」をテーマに、ステークホルダーの皆さまとともにアウディらしく進んでまいります。多くの皆様にさまざまな角度からアウディを体感いただくことこそが、アウディブランドをさらに発展していくことができると信じています。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

\*1：2026 年 1 月 7 日発表 「AIA Market Report 2026 年 1 月号（第 1 報）」より

\*2：自社調べ

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社  
アウディ ジャパン 広報部

アウディ ジャパン プレスサイト  
<http://www.audi-press.jp/>

報道関係者お問い合わせ：  
<https://audi-press.jp/contact/>

お客様お問い合わせ：  
アウディ コミュニケーション センター  
0120 - 598106



---

アウディ グループは、プレミアムおよびラグジュアリーセグメントにおいて最も成功している自動車・モーターサイクルメーカーの一つです。アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティの 4 ブランドは 12 カ国・21 カ所の生産拠点で製造を行っています。アウディとそのパートナーは世界 100 以上の市場に展開し、2024 年、アウディ グループは約 170 万台のアウディ、10,643 台のベントレー、10,687 台のランボルギーニ、54,495 台のドゥカティモーターサイクルを販売しました。2024 年度の売上高は 645 億ユーロ、営業利益は 39 億ユーロを計上し、12 月 31 日時点で 88,000 人以上の従業員が在籍、そのうち 53,000 人以上がドイツの AUDI AG に勤務しています。アウディ グループは、魅力的なブランドと多彩な新型モデルを展開しながら、持続可能で完全にネットワーク化された、プレミアムモビリティのプロバイダーへの道を体系的に進んでいます。

---